

ICT/CMMS(CAFM)の動向ー調査活動・トピックスの発表ー

【メインテーマ】

コンピュータ活用研究部会

発表者 部会長:天神 良久

「FM領域に係わるICT新技術の調査」

「CAFMの利用実例調査」を通じてFM領域におけるIT化を調査研究し、会員へ成果を発表する。

※ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術)

※CAFM (Computer Aided Facility Management: コンピュータ支援によるFMのこと。これに関するソフトウェアもCAFMと呼ばれる)

【活動内容】

- ・月一回: ICT新技術、CAFM等の勉強会
- ・施設等見学会
- ・CAFMソフトウェア利用調査
- ・勉強会、調査の報告書作成(JFMAホームページ、JFMA FORUMで発表)

【メンバー】

天神良久、秋山克己、木村圭介、森本卓雄、山岸順二、久野誠、伊藤秀憲、野間操、小木曾清則、白土裕孝、千葉貴史、山本直樹、繁戸和幸、鶴町和子、森本泰江、今井美和、牧優子、丹野裕之、小川文孝、澤田務、岡晴之 ※青字は、フォーラム発表予定者

【活動状況(2009. 04~2009. 12)】

- 第37回 NTTファシリティーズDBセンター見学会
日 時 : 2009年12月11日(月)
講 師 : 岩橋和廣様(NTTファシリティーズ)
- 第36回 Widows7の最新技術の勉強会
日 時 : 2009年11月16日(月)
講 師 : 杉田晶子様(日本マイクロソフト)
- 第35回 病院のCAFMシステム利用の勉強会
日 時 : 2009年10月30日(月)
講 師 : 松本義也様(トラストシステム)
- 第34回 BCPと新型インフルエンザ対策の勉強会
日 時 : 2009年9月28日(月)
講 師 : 上倉 秀之様(セノン)
※赤字はJFMAフォーラム発表予定
- 第33回 慶應大学 CAFMシステム見学会
日 時 : 2009年7月28日(火)
講 師 : 繁森 隆様(慶應大学)
- 第32回 CAFM(VM7)システムの勉強会
日 時 : 2009年6月23日(火)
講 師 : 堀 晴彦様(エフ・アイ・ティー・パシフィック)
- 第31回 デスクトップ会議システムの勉強会
日 時 : 2009年5月19日(火)
講 師 : 下谷哲也様(塩見キャリアフィールドینگ)
- 第30回 デスクトップ会議システムの見学会
日 時 : 2009年4月17日(金)
講 師 : 西畑 博功様(エイネット)

2008年度 活動状況

- 第27回 日本マイクロソフト東京本店施設見学
日 時 : 2008年12月12日(金)
講 師 : 長坂 将光様(マイクロソフト)
- 第26回 GISの利用方法に関して
日 時 : 2008年11月14日(金)
講 師 : 東 孝緒様(サンコー)
- 第25回 社内利用のCAFM実例報告
日 時 : 2008年10月31日(金)
講 師 : 今井 美和様(富士通)
- 第24回 建物劣化調査診断へのアプローチ
日 時 : 2008年9月22日(月)
講 師 : 川口 誠様(アクセンエンジニアリング)
- 第23回 環境に配慮したエコ風力発電機の施設見学
(横浜港開港150周年記念協会)
日 時 : 2008年8月1日(金)
講 師 : 高橋 剛夫様(オリテックス)
- 第22回 竹中工務店東京本店(東陽町)施設見学
日 時 : 2008年6月13日(金)
講 師 : 興津 利継様(竹中工務店)
- 第21回 情報セキュリティの最新動向
日 時 : 2008年5月9日(金)
講 師 : 河合 義一様(ヒューベルサービス)
- 第20回 警備区画に変化と最新技術動向
日 時 : 2008年4月18日(金)
講 師 : 上倉 秀之様(セノン)



①慶應大学 CAFM見学会(写真左)



②NTTファシリティーズ DBセンター見学会(写真右)

ICT/CMMS(CAFM)の動向ー調査活動・トピックスの発表ー

コンピュータ活用研究部会 発表者 部会委員: 繁戸和幸

■ 慶應大学(三田キャンパス) CAFM活用事例報告

慶應義塾大学 三田キャンパスにおけるCAFMシステムの活用事例を紹介いたします。

【システム管理対象】

- ・ 慶応大学 三田キャンパス 建物20数棟
- ・ 年間約1,300件の工事



【システム導入の背景と目的】

- ・ 工事件数多く、工事・修繕履歴が未整理
- ・ 担当者(建築・電気・設備等)間での情報共有
- ・ 工事注文書の作成負担の軽減
- ・ 稟議書の管理及び利用の改善
- ・ 会社実績や指名・入札(見積)状況の確認



- ・ 施設管理に関する各種情報を一元管理
- ・ 管理業務の効率化=担当者の業務支援

【システム構築の方針】

- ・ 基本的に従来の業務手順、内容は変更しない
- ・ 業務の進捗段階が容易に判別可能とする
- ・ 可能な限りデータ入力を少なくする
- ・ 日常業務の中で情報集約できるシステムとする



- ・ ワークフローに基づくシステム設計

【開発及び運用状況】

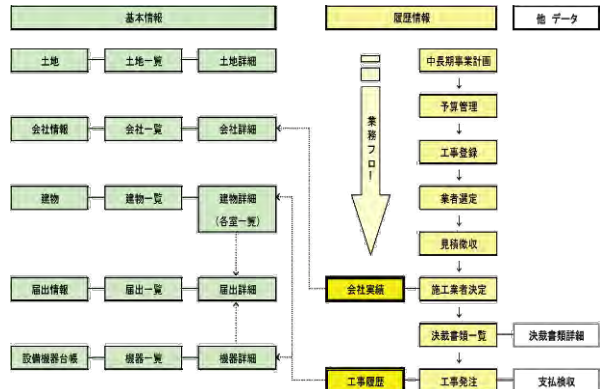
- ・ 開発及びデータ整備
 - 2005年10月~2006年5月 (開発: ジオコミュニケーションシステムズ)
 - 三田キャンパス内建物履歴、稟議書データ整備
- ・ テスト運用
 - 2006年6月~2007年3月(数名での運用)
 - 2006年度全工事情報の登録、一部機能の改良
- ・ 本格運用
 - 2007年4月~現在(全担当者による運用)

【システムの構成】

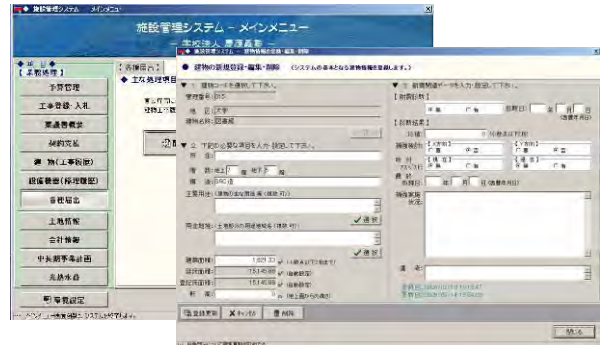
- ・ 学内イントラ環境でのクライアント・サーバ方式
- ・ 施設管理サーバ×1、クライアントPC×3
- ・ OS: Windows Server 2003、Windows XP
- ・ DB: Firebird(オープンソース)ODBC接続
- ・ 開発言語: C++

【システムの機能】

- ・ 予算管理
- ・ 工事登録・入札
- ・ 稟議書
- ・ 契約・支払
- ・ 建物管理
- ・ 設備機器
- ・ 各種届出
- ・ 会社情報
- ・ 中長期事業計画
- ・ 光熱水費・土地



【画面イメージ】



【システム導入による効果】

- ・ 工事情報の一元化・集約化による業務効率向上
 - 注文番号の管理、注文書発行の負担軽減
 - 工事毎の進行確認の迅速化
 - 予算額、残予算、稟議書等の確認が容易
- ・ 工事履歴データ、会社実績データの整備、蓄積
 - 工事情報を簡単に建物と関連付けて整備可能
 - 会社実績はすぐに反映し確認可能
- ・ データを中心とした業務形態へのシフト
 - 職員がすぐに情報確認できる環境の整備
 - 意識やリテラシーの向上

【課題及び将来展望】

- ・ 設備機器の整備推進
- ・ 常駐管理者(外部委託)とのデータ連携
- ・ 会社実績の評価を踏まえた選定
- ・ 工事实績の分析・評価
- ・ 中長期事業計画への反映
- ・ CADデータの一元管理

ICT/CMMS(CAFM)の動向—調査活動・トピックスの発表—

コンピュータ活用研究部会 発表者 部会委員：野間 操

■ デスクトップ会議システムの動向

近年高まりつつあるデスクトップ会議システムのニーズ、タイプ別商品、導入までのポイントをご紹介します。

【概要】

1. タイプによるシステム区分
 - 1) PCタイプ
(ノートPCにカメラを接続し専用のソフトウェアで利用するタイプ)
 - 2) 専用端末タイプ
(専用のハードウェアで構成されるタイプ)
2. 最近の動向
 - 1) ネットワークインフラの革新(広帯域化)
 - 2) 高画質タイプの普及(SD→HD→FullHD)
 - 3) モバイル環境での利用(ワークスタイルの変化)
3. 多地点接続
標準機能または追加機能で対応
4. データ共有
PC画面を共有できる機能、お互いに操作できるタイプもある。

	PC タイプ	専用端末 タイプ
画質・音質	△	◎
操作性	△	○
初期投資	◎	×
ランニング コスト	○	○
データ共有	◎	△
安定性	△	◎
カスタマイズ	×	◎

【専用端末タイプでの区分】

1. 大規模会議室向け
他のAV機器との接続が可能で様々な用途に応じて使い分けができる
2. 中小規模会議室向け
コンパクトな構成で最も普及しているタイプ、多地点接続など幅広いニーズに応えられる。
3. オールインワンタイプ
1~3名程度の小規模で利用するタイプ。本体、ディスプレイ、カメラ、マイクなどがワンセットとなっている多地点接続の拡張ができない場合もある。
4. テレプレゼンス
遠隔地でありながら、あたかも目の前で会議しているような環境をつくるシステム。設置環境全体がワンパッケージで提供される場合が多い。

【デスクトップ会議システムを導入のステップ】

